

<教育サポート報告>

平成19年10月10日 シニアスクール 10:45～12:20

「水は異なもの、味なもの」

板谷 利久

昨年度の受講生が5名ほど参加されているとのことから、“落第したの？”、“勉強が好きなんだねえ！”から始まった。昨年度2月14日の授業と大きくは変わらず、シニアの方々の顔色（意欲的なのか、消極的なのか？）を見つつすすめ、いつも通り、“手は使わず、頭を使ってくださいね”から始まった。

まず、私のこれからの授業はいわゆる「総合学習」であること、つまり水について国語、社会、理科、算数を使って勉強することを前もって伝え、次の項の順番ですすめた。

1．水と言われて思い浮かぶもの？

黒板に私が書いていき、思いつくままに言ってもらう形ですすめた。昨年度とは違って、男の方が積極的に言葉を発していました。

出てきた言葉を部首ごとにまとめると、

あめかんむり：雨・雪・霜 → 降ってくるもの、水蒸気が蒸発してできるもの。

さんずい：液・海・汗・海・湖・涙・湯 → 水の状態・体に関係するもの

その他：氷・尿、血液（体に関係）

【水の検査は皆さんの血液検査と同じ。女性より男性の方が体内水分は多い。】

2．水は「忍者」(“くノ一”かも)：形を変える。

気体・液体・固体と変化する水の特性を、実体験（息が白くなる、凍る、雪、乾燥）から考えてもらう。

【雨水は約1週間（正確には9日間）で蒸発して戻ってくるが、蒸発して戻って来ないのは人間だけ。】

3．水の働き

- ・ 雨：川を作る
- ・ 地下に浸透する（地下水）：おいしい湧水箇所（内別川湧水・長沼湧水・三段滝湧水・羊蹄湧水・豊平峡ダム湛水部の炭酸湧水）、ドラゴンウォーター（千走川）
- ・ 豪雨：山を削る（土砂崩れ）

- ・ 川：河岸を削る
- ・ 土砂を運ぶ（土石流）
- ・ 河口で土砂を堆積させる

3 - 2 水の働き

【ものを溶かす】

- ・ 塩・砂糖などを溶かす。
- ・ 水を温めて、雪を融かす。

【ものを薄める】

- ・ みそ汁がしょっぱいから水を足す。
- ・ 風呂が熱いから、水を足す。(温度)

4 . 「酸っぱい」・「苦い」とはどういうこと？(昨年度の実験結果から)

pH (ペーハーと読みます)

酸性・アルカリ性

酸性：字の如く、酸っぱい

アルカリ性：それじゃ、苦いほう？

昨年度の結果を利用して、

pH	2	2.5	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6	7.5	8	9
	梅干し	(・。・) コーラー	レモン 純米酢 醤油	アク。グレイプフルーツ リンス(スポーツ飲料)	ワインゴ	ビール	インスタントコーヒー 日本酒(純米酒)	ウーロン茶	水道水(札幌) ほうじ茶	石けん水	シャンプー	にがり

5 . 川の位置から昔の 36 号線を想像しよう。

水は、高いところから低いところに流れる。地形が大きく変化しなければ、昔の川の位置と今の川の位置はそんなに変わらない。清田区の範囲に限り、旧 36 号線を想像してもらった。

6 . 支笏湖について

でき方、どれくらいの水が蓄えられているのか、水質は？、これまでの調査結果などを交えて説明した。

【感想】

今年度のシニアの方々は、聴くときには聴いて、話すときには自分の体験などを絡めて積極的に参加してくれました。授業中は生き生きして、こちらも元気を頂きました。(以上)